NISSUI

食物アレルギー物質検出キット

FAテスト 甲殻類「ニッスイ」

「えび」「かに」表示義務
食の安全と安心を力強くサポート

FAテスト EIA-甲殻類Ⅱ「ニッスイ」
FAテスト イムノクロマト-甲殻類Ⅱw「ニッスイ」
FAテストⅡ 抽出用試薬

NISSUI PHARMACEUTICAL CO., LTD.

食物アレルギー物質検出キット ラインナップ

○FAテスト(えび・かに)検出キット一覧

品 名	製品コード	統一商品コード	包 装	価 格
FAテスト EIA-甲殻類Ⅱ「ニッスイ」	08624	302086245	96回用	68,000円
FAテスト イムノクロマト-甲殻類Ⅱw「ニッスイ」	08628	302086283	20テスト用	26,000円
FAテストⅡ 抽出用試薬	08627	302086276	抽出液A, B, C 各1本	10,000円

●遮光下、冷所(2~8℃)保存、禁凍結　●製造後12ヶ月

FAテスト EIA-甲殻類Ⅱ「ニッスイ」

- 抗体固相化プレート … 96ウェル (8ウェル×12列) ×1枚
- 標準品 (50ng/mL) …………… 1.2mL×2本
- 検体希釈液 …………… 100mL×1本
- 酵素標識抗体液 …………… 13mL×1本
- 酵素基質液 …………… 13mL×1本
- 反応停止液 (1N硫酸) …………… 13mL×1本
- 洗浄液 (10倍濃縮液) …………… 100mL×1本
- 取扱説明書 …………… 1部

FAテスト イムノクロマト-甲殻類Ⅱw「ニッスイ」

- テストプレート …………… 20テスト (個包装)
- 検体希釈液 …………… 50mL×1本
- 取扱説明書 …………… 1部

FAテストⅡ 抽出用試薬

- 抽出用A液 (10倍濃縮液) …………… 100mL×1本
- 抽出用B液 (10倍濃縮液) …………… 100mL×1本
- 抽出用C液 (10倍濃縮液) …………… 100mL×1本
- 取扱説明書 …………… 1部

○その他 項目検査キット一覧

FASTKIT エライザ Ver.Ⅲ シリーズ

品 名	製品コード	包 装	価 格
FASTKITエライザ Ver.Ⅲ 卵	08741	96回用	78,000円
FASTKITエライザ Ver.Ⅲ 牛乳	08742	96回用	78,000円
FASTKITエライザ Ver.Ⅲ 小麦	08743	96回用	78,000円
FASTKITエライザ Ver.Ⅲ そば	08744	96回用	78,000円
FASTKITエライザ Ver.Ⅲ 落花生	08745	96回用	78,000円
FASTKITエライザ Ver.Ⅲ 大豆	08746	96回用	78,000円
FASTKITエライザ Ver.Ⅲ ごま	08747	96回用	78,000円

●遮光下、冷所(2~8℃)保存、禁凍結　●製造後6ヶ月

- 抗体固相化プレート(カバー付き) …… 96ウェル(8ウェル×12列)×1枚
- 標準溶液(50ng/mL) …………… 1.8mL×1本
- 希釈用緩衝液 …………… 100mL×1本
- ビオチン結合抗体 …………… 150μL×1本
- 酵素(ペルオキシダーゼ)-ストレプトアビジン結合物 ‥ 150μL×1本
- 発色剤 …………… 12mL×1本
- 反応停止液(0.5N硫酸) …………… 12mL×1本
- 濃縮洗浄液(10倍濃縮) …………… 100mL×1本
- 抽出用試薬①(20倍濃縮) …………… 50mL×1本
- 抽出用試薬②(20倍濃縮) …………… 50mL×1本
- 抽出用試薬③(20倍濃縮) …………… 50mL×1本
- 取扱説明書 …………… 1部

FASTKIT スリムシリーズ

品 名	製品コード	包 装	価 格
FASTKIT スリム 卵	08630	20回用	32,000円
FASTKIT スリム 牛乳	08631	20回用	32,000円
FASTKIT スリム 小麦	08632	20回用	32,000円
FASTKIT スリム そば	08633	20回用	32,000円
FASTKIT スリム 落花生	08634	20回用	32,000円
FASTKIT スリム 大豆	08635	20回用	32,000円

●遮光下、冷所(2~8℃)保存、禁凍結　●製造後12ヶ月

A：テストストリップ …………… 2テスト×10包装
B：希釈用緩衝液 …………… 50mL×1本
C：濃縮抽出用緩衝液(10倍濃縮液) …………… 100 mL×1本
- 取扱説明書 …………… 1部
- ビニールパウチ袋 …………… 1枚

FASTKIT 製造元
NIPPONHAM
日本ハム株式会社　中央研究所
〒300-2646　茨城県つくば市緑ヶ原3-3
Tel:029(847)7825 Fax:029(848)1256
URL:http://www.rdc.nipponham.co.jp/

取扱上の注意

本キットは食品中の特定原材料含有量を測定するための検査用試薬であり、食品アレルギー発症の有無を診断する臨床検査薬ではありません。アレルギー症状の発症には大きな個人差があり、アレルゲンの摂取量とアレルギー症状との相関は不明です。

製造発売元
日水製薬株式会社
〒110-8736　東京都台東区上野3-23-9
URL：http://www.nissui-pharm.co.jp

お問い合わせ先：カスタマーサポート
Tel.03(5846)5707

(DY1509)

FAテスト EIA-甲殻類Ⅱ「ニッスイ」

消費者庁のガイドライン準拠
加熱・加工の有無によらず、幅広い食品に適用

特　徴

■優れた感度特異性

特異性に優れた抗体を用いていますので、食品中の甲殻類（えび類、かに類）由来タンパク質を精度良く測定することができます。

■消費者庁のガイドラインに準拠

消費者庁次長通知「アレルギー物質を含む食品の検査方法について」（平成22年9月10日消食表第286号当職通知、および平成26年3月26日消食表第36号当職通知により一部改正）における「アレルギー物質を含む食品の検査方法の改良法の評価に関するガイドライン」を満たしていることを確認しています。

試験方法

STEP 1　食品からの検出操作※

①食品サンプル（検体）を粉砕機などにより均一化します。（調製試料）

②調製試料1gに検体抽出液19mLを加え、12時間以上振とうします。

③遠心分離、ろ過を行って不要物を除去します。

④検体希釈液で20倍に希釈します。

※一般的な抽出操作例です。最適な抽出条件は食品によって異なりますので、必要に応じて検討を加えてください。

STEP 2　プレート操作（EIA法：所要約3時間）

①プレートをアルミパウチ袋に入れたまま常温に戻し、使用直前に取り出します。

②各ウェルに希釈した標準溶液および測定溶液100μLを加え、軽く攪拌したあと室温で1時間静置します。

③各ウェルの中身を捨てて、調整した洗浄液250〜300μLを加えて洗浄します。これを5回繰り返したあと、酵素標識抗体液100μLを加えて1時間静置してください。
反応終了後、再び洗浄します。

④各ウェルに酵素基質液100μLを加え、軽く攪拌したあと室温で20分静置し、反応させてください。
その後、反応停止液100μLを添加します。

STEP 3　結果判定

①プレートリーダーにて、主波長450nm、副波長600〜650nmの吸光度を測定します。

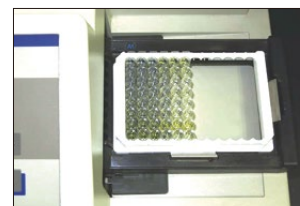
EIA法測定原理

1 アレルギー物質と結合する抗体が、プレート上に固相化されている

2 測定溶液中のアレルギー物質が抗体と結合

3 結合体に酵素標識抗体が結合し、サンドイッチ複合体を形成

4 酵素基質液を加えて発色させる

TM
Enzyme

FAテスト イムノクロマト-甲殻類Ⅱw「ニッスイ」

簡易型迅速検出キット
ハウジングを改良し、見やすく使いやすく

特　徴

■優れた感度

最小検出感度は、食品中の濃度で数ppm、エライザ法との相関性も良好です。加工食品に対する反応性も向上しました。

■短時間で簡単な検査方法

検査方法は、調製後の試料溶液をテストプレートに滴下するだけ。
結果判定は、試料溶液を滴下して20分経過後、判定部に現れる赤紫色ラインの目視確認のみです。

■検査対象は広範囲

原材料から加工食品まで、幅広い検査に適用します。

エビ・カニ
C　T

新しいⅡwは…

- 見やすく判定しやすい
- 滴下しやすい
- 持ちやすい
- 個包装で保管性UP

試験方法

	STEP 1 試料調整		STEP 2 テストプレート操作		STEP 3 結果判定
食品検査	サンプルの均質化	抽出・希釈操作	テストプレート※に100μL滴下	20分静置	陽性：2本のライン
ふき取り検査	ふき取り液と綿棒の準備	検査箇所のふき取りおよび綿棒の懸濁			陰性：1本のライン

C　T

綿棒・ふき取り液・ピペット機能一体化
ふき取りキット「ニッスイ」が便利!!

イムノクロマト法測定原理

金コロイドによる赤紫色のライン
複合体
アレルゲン物質
試料溶液滴下
1)
2)
3)
4)
5)
対照部(C)　試験部(T)　感作金コロイド塗布部　検体添加部

1）オリゴヌクレオチド結合抗甲殻類トロポミオシンモノクローナル抗体
2）金コロイド結合抗甲殻類トロポミオシンポリクローナル抗体　3）金コロイド結合タンパク質
4）オリゴヌクレオチド結合タンパク質　5）金コロイド結合タンパク質に対する抗体

1 プレートに試料溶液を滴下すると、予め感作金コロイド塗布部の試薬が溶解し、試料中のアレルゲン物質と複合体を形成

2 複合体が判定部に移動し、試験部（T）に固定化されたオリゴヌクレオチドに相互反応により捕らえられ、赤紫色ラインを形成

3 一方、試料中のアレルゲン物質の有無に関わらず試料溶液が正常に移動すると対象部（C）に赤紫色ライン